



学校だより

10月号

自ら学び考えることができる生徒 感性豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康な生徒

大田区人権教育研究協力校

「みんながいる わたしがいる
さしのべる 生きている」

令和年9月28日

大田区立糀谷中学校

校長 小島 宏一郎

心身ともに健康な生徒

「六つの精進」 9月5日全校朝礼講話より

校長 小島宏一郎

今日は、「平成の経営の神様」と呼ばれた稲盛和夫さんの話をします。今年の8月24日、老衰のため自宅で亡くなりました。享年90歳でした。

7人兄弟の次男として生まれた稲盛さんは、27歳の時に京都セラミック・現在の京セラという会社を作りました。そして京セラを、素材、半導体、電子部品から完成品、システムに至る幅広い製品群を持つ世界有数の優良企業に育て上げました。

1984年には第二電電、今のKDDIの元になる会社を設立しました。稲森さんの考え方の基本に「利他」（他人のために）がありました。今、日本で通信網がこんなに発達したのは、それまで電電公社（今のNTT）が独占していた通信業界に競争原理を持ちこんで、利用者のために通信料を安くしようとした稲盛さんの働きがあったからです。

平成22年2月、彼は日本航空会長に無報酬で就任しました。そして、2兆3,000億円という戦後最大の負債を抱え事実上倒産していたJALを2年8か月で立て直しました。

若手経営者の育成にも力を入れてきた稲盛さんは多くの名言を残していますが、今日はその中から「六つの精進」を紹介します。

「六つの精進」とは、人生や仕事において、重要となる実践項目をまとめあげたもので、稲森さんは「これを毎日連綿と実践し続けていけば、やがてすばらしい人生が開けていくはずです。」と言っています。

一つ目は「努力」です。

自然界に生きている動植物が皆必死に生きているように、人間もまた、まじめに、一生懸命に働くということが、生をうけたものとしての最低の務めです。そのためには、まず仕事を好きになることが大切です。好きであれば仕事に没頭することができ、さらによいものを目指そうという気持ちも生まれ、自然に創意工夫をするようになります。仕事に夢中になり、人並み以上の努力をする。この努力がすばらしい結果をもたらしてくれます。

二つ目は「謙虚」です。

世間では、他人を押しつけてでも、という強引な人が成功すると思われがちですが、決してそうではありません。成功する人とは、内に燃えるような情熱や闘魂を持っていながら、謙虚で控えめな人物であり、謙虚さを持って生きることが大切です。そして、成功し、高い地位についても、謙虚さを忘れてはいけません。「謙虚にして驕らず」。このことを、深く心に刻んで、生きていくことが必要です。

三つめは「反省」です。

例えば、一日を終えた後に、その日の行いが、「人に不親切ではなかったか」「傲慢ではなかったか」

「卑怯な振る舞いはなかったか」「利己的な言動はなかったか」と振り返り、人として正しいことを行えたか問いかけてみます。もし自分の行動や発言に反省すべき点があれば、改めなければなりません。反省のある毎日を送ることは、人格を向上させ、人間性を高めていくことにつながります。

四つ目は「感謝」です。

人は自分一人では生きていけません。空気、水、食料、また家族や友達、さらには社会など、自分を取り巻くあらゆるものに支えられて生きています。そう考えれば、自然に感謝の心が出てきます。感謝の心が生まれてくれば、自然と幸せが感じられるようになってきます。いたずらに不平不満を持って生きるのではなく、今あることに素直に感謝する。その感謝の心を「ありがとう」という言葉や笑顔で周囲の人たちに伝える。そのことが、自分だけでなく、周りの人たちの心も和ませ、幸せな気持ちにしてくれるのです。

五つ目は「善行」です。善きことを思い、善きことを実行すれば、運命をよき方向へ変えることができる。善きこととは、人に優しくあれ、正直であれ、誠実であれ、謙虚であれ、などという人として最も基本的な価値観である。昔から「情けは人のためならず」と言われているように、善きことを積み重ねていくことで、私たちの人生もよりよいものにしていきましょう。

最後は「感性」です。

人生では、誰でも失敗をする。間違いも起こす。しかし、そうした過失を繰り返しながら人は成長していくのですから、失敗をしても悔やみ続ける必要はありません。「覆水盆に返らず」という言葉のとおり、一度こぼれた水は元に戻りません。起こってしまったことを、いつまでも思い悩んでいても何の役にも立たない。十分に反省した後は、くよくよせずに新しい道を歩み始めることが大切です。いつまでも悩み、心労を重ねるのではなく、理性で考え、新たな行動に移ることが、すばらしい人生を切り拓いていく。そんな感性をもってください。

最後に、稲盛さんが「人生で一番大事なものは何か」という問いにどう答えているかを紹介します。やっぱり人生で一番大事なものというのは、1つは、どんな環境にあろうとも真面目に一所懸命生きること。それともう1つは、人間は常に「自分がよくなりたいたい」という思いを本能として持っていますけれども、やはり利他の心、皆を幸せにしてあげたいということ強く自分に意識して、それを心の中に描いて生きていくことです。



3年ぶりの地域ボランティア ～ 糀谷地区連合運動会 ～

9月25日に本校の校庭で糀谷地区連合運動会が開催されました。新型コロナウイルス感染防止のため、昼食時間を挟まない午前のみの実施となりましたが、3年ぶりに糀谷地区10町会が一堂に会し、町会対抗種目やパン取り競走などの競技を楽しみました。参加者数は1,053名。本校の生徒も22名がボランティアで参加し、召集係、出発係、審判係、競技係の仕事に熱心に取り組んでくれました。



生徒の活躍の記録から

【ソフトテニス部】

令和4年度大田区中学校新人大会

男子団体 第3位 (都大会出場権獲得)

【第75回大田区立中学校陸上競技選手権大会】

9月15日、3年ぶりに駒沢競技場で連合陸上競技大会が開催されました。代表選手は競技に応援に精一杯取り組み、右のとおり8種目で入賞しました。

1・2年女子100mH	第1位	■■■■■	17秒00
1・2年女子砲丸投	第2位	■■■■■	8m12
〃	第5位	■■■■■	7m44
1年男子100mH	第5位	■■■■■	21秒34
1・2年男子砲丸投	第7位	■■■■■	9m16
1年男子100m	第8位	■■■■■	13秒58
2年男子1500m	第8位	■■■■■	4分49秒26
2年男子4×100mR	第8位	■■■■■	■■■■■
		■■■■■	49秒80
100mハードルの■■■■■さんは、大田区の代表として11月に行われる支部対抗陸上競技大会に出場します。			



早寝・早起き・朝ごはん月間 体力づくり強調月間
3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進月間

10月の行事予定

10月は今年度2回目の「早寝・早起き・朝ごはん」月間です。成長期の子供たちの健やかな成長には、規則正しい生活リズムとバランスの取れた食事が必要です。ご家庭でもこの機会にお子様の睡眠時間と食生活を見直し、「早寝・早起き・朝ごはん」を意識した生活が送れるようにお声かけをお願いします。

日	曜日	予定	日	曜日	予定
1	土		17	月	生徒会朝礼、合唱放課後練習開始
2	日		18	火	
3	月	全校朝礼、安全指導、専門委員会、生徒評議会	19	水	2学年リハーサル(5校時)
4	火	生徒発表会実行委員会	20	木	1学年リハーサル(6校時)
5	水	区教研、5カット	21	金	3学年リハーサル(6校時)
6	木	職員会議	22	土	
7	金	英検(3年)、1,2年5・6カット	23	日	
8	土	夜間学級連合体育大会	24	月	学年朝礼、2学年リハーサル(1校時)
9	日		25	火	部活動リハーサル
10	月	スポーツの日	26	水	1学年リハーサル(5校時)
11	火	修学旅行始(3年)	27	木	3学年リハーサル(6校時)
12	水		28	金	生徒発表会前日準備
13	木	修学旅行終(3年)	29	土	生徒発表会(舞台)
14	金	避難訓練、生徒発表会実行委員会	30	日	
15	土		31	月	振替休業日
16	日				

《栄養士より》1階事務室入口にある食育掲示板に「おすすめ 朝ごはん レシピ♡」を用意しました。今、紹介しているのは、「巣ごもり卵どんぶり」と「いろいろハムチーズトースト」です。まだ余りがありますので、ご自由にお持ちください。